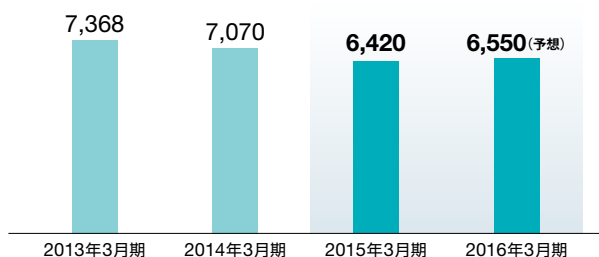


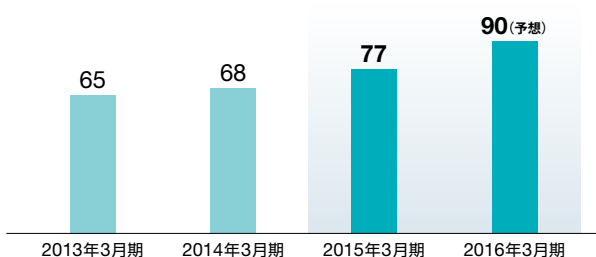
Financial Highlight / Corporate Outlook

連結業績ハイライト／経営概況

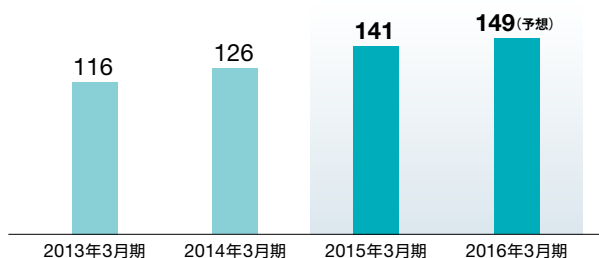
売上高 (億円)



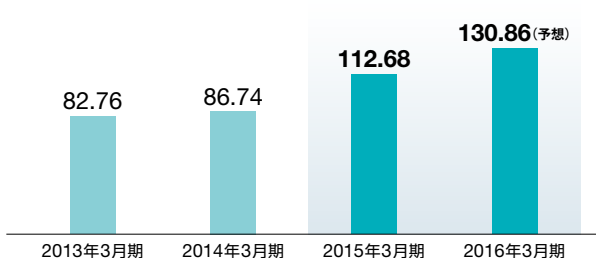
当期純利益 (億円)



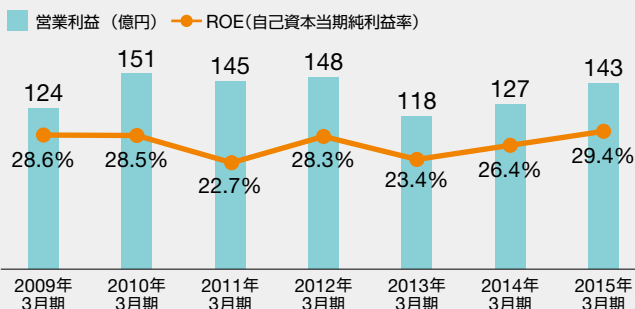
経常利益 (億円)



1株当たり当期純利益 (円)



ROE・営業利益 推移



合併以来、高水準のROEと営業利益を維持

2013年8月
「JPX日経インデックス400」に選出

※14/3期 一部上場企業の平均ROE：約8.7%
(出所：日本取引所グループ)

JPX日経インデックス400は、日本取引所グループとその傘下の東京証券取引所、および日本経済新聞社が共同で開発し、2014年1月6日から公表が始まった株価指数です。

2015年3月期の業績

当期におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策等を背景に、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げや円安に伴う物価上昇により個人消費低迷が長引くなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、期初には前期末の駆け込み需要の反動等により販売は低調に推移したものの、主要通信事業者3社による新料金プランの導入に加え、iPhone6

をはじめとする新機種の販売好調等により、6月以降の販売は回復基調で推移いたしました。

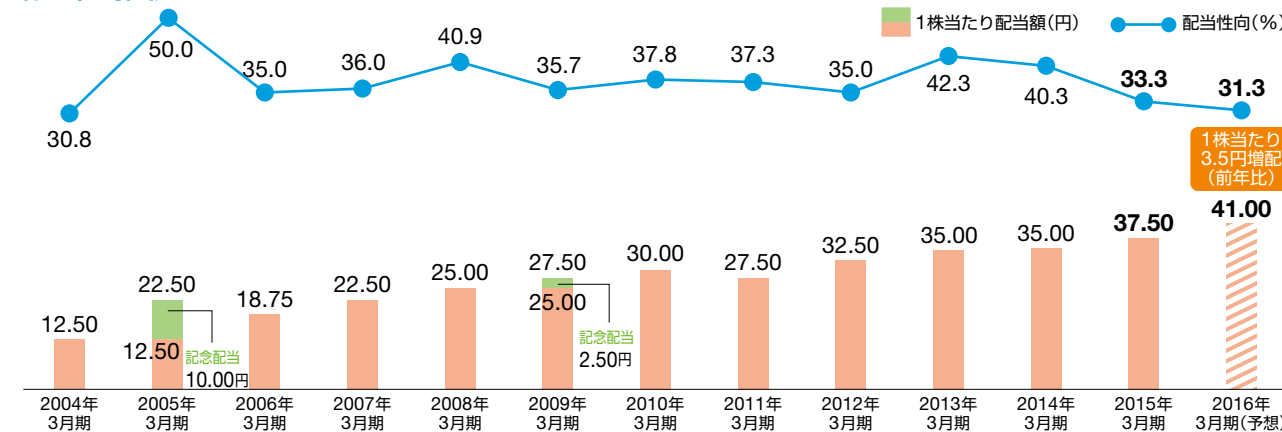
このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は512万台となり、スマートフォンの販売比率は7割強で推移いたしました。この結果、当連結会計年度における業績は、売上高6,420億95百万円(前期比9.2%減)、営業利益143億6百万円(同12.1%増)、経常利益141億94百万円(同12.1%増)、当期純利益77億48百万円(同13.3%増)となり、前期比で増益となりました。

2016年3月期の見通し

当社はタブレットやスマートフォン関連商材、各種ソリューションサービスの提案強化に加え、決済金額の増加に伴うギフトカードの販売増加等を見込んでおります。また、当期に引き続き全社的な業務効率化等の構造改革を推進する一方、重要性が

更に高まる店舗への投資や海外事業の積極的な展開等を勘案し、売上高6,550億円(前期比2.0%増)、営業利益150億円(同4.8%増)、経常利益149億円(同5.0%増)、当期純利益90億円(同16.2%増)を予想しております。

配当の推移



※2012年3月期以前の数値につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。